

【面接官の印象】

1. 外国人面接官の印象

40歳前後 米人か
フランクな感じ

2. 通訳ガイド

女性 55～60歳
気配りの効くタイプ。米人よりリードしていたように見えた。

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

プレミアム・フライデーは第4金曜の早帰りを促進する仕組みです。余暇、旅行に有効に使い、仕事とライフのバランスをとることで、全体として経済の活性化と人生の質の向上を狙った措置です。2017年2月17日から導入されました。

《自分の解答》

同上（ほぼ）

4. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- ① 夏目漱石
- ② 厳島神社
- ③ 思い出せず（かなりあせってました）

《選択したトピック》

『厳島神社』

《発表した内容》

もともとは5Cくらいに創建された神社で、広島・宮島にある。平安時代、最初の強力な武将である平清盛が改装して平一族の守り神とした。何より海に浮かんで見える社殿やおおきな鳥居の様は圧巻で国外から多くの観光客が訪れている。

5. 質疑応答について

NS	広島の名物は。 原爆ドームはどこにあるのか。 東京・京都は有名であるが、混雑している。他によいところはどこか。 三大名園について説明した 後楽園は野球場ではないか（岡山で広島のとなりといった）
----	--

兼六園の見所 偕楽園と徳川家との関係など

6. 試験を終えての感想

定番の問題でもその場で示され、一気に説明するのは大変だ。巖島神社はそのうちの1つ。しかし無数の中からいきなり示されるわけだから、十分には言い切れない。何回も何回もひとりことでよいから口に出す訓練が必要だと改めて思った。(タントラム先生から「日本の城」について **Excellent(±なし)**を頂いたのは自信となった)